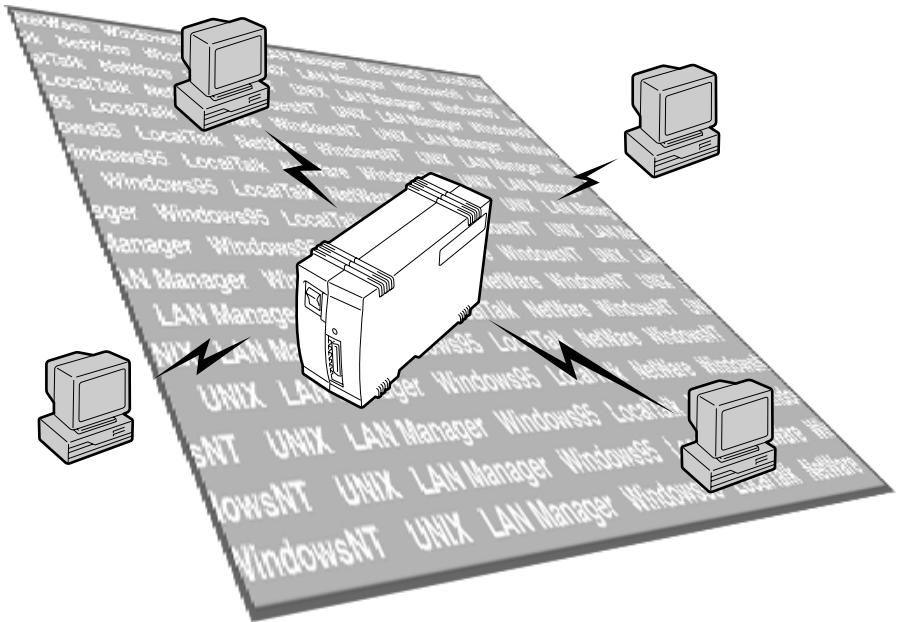


PC-PR-L04

マルチプロトコルLANアダプタ

取扱説明書



商標について

MicrosoftとそのロゴおよびWindows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。

IBM、PC/AT、LAN Serverは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

NetWareおよびNOVELLはNovell, Inc.の登録商標です。

UNIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意



警告

この警告を無視した取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

- レ 本装置を分解したり、改造したりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
- レ 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後販売店またはサービス窓口にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



注意

この注意を無視した取り扱いをすると、火傷やけがなどの障害を負うおそれおよび物的損害を負うおそれがあることを示します。

- レ 本体の電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。
- レ 濡れた手で電源コードをコンセントに接続しないでください。感電の原因となります。
- レ 本体の電源コードのプラグ配線は、タコ足配線にしないでください。タコ足配線にするとコンセントが加熱し、火災の原因となることがあります。
- レ 電源コードがコンセントに接続されているときには、濡れた手で本体に触ったり、針金などの金属類を装置内部に差し込んだりしないでください。感電の原因となります。
- レ 電源コードが損傷した場合は、販売店またはサービス窓口にご連絡して交換してください。損傷部分を補修して使用したり、そのまま使用したりすると感電や火災のおそれがあります。

所有権通告および責任の制限

本書に記載されている設計および関連資料などの情報は、すべてNEC(弊社)および個々のライセンス保有者の貴重な財産です。弊社およびライセンス保有者は、本書の設計、製造、複写から使用、販売権に至るまで本書に関するすべての特権、著作権、およびその他の所有権を保有します。ただし、書面により上記の権利を他社へ譲渡することを認可している場合は、この限りではありません。

ただし、各製品の実際の性能は、システム構成、顧客データ、オペレータ制御などの要因によって決定されます。製品導入環境は顧客によって異なるため、特定製品の構成およびアプリケーションソフトウェアの適性は、弊社でなくお客様によって決定されることになります。

設計および仕様の改善を可能にするため、通知なしに本書の内容を任意に変更することがあります。弊社の許可なく本書の一部または全部の複製・転載を禁じます。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA種情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェア)は、日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく本書および添付ソフトウェアの複製・改変を行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お問い合わせの販売店にご連絡ください。
5. 本製品(ソフトウェアを含む)が有する機能の中には使用する環境によってはサポートされない場合があります。
6. 本製品を運用した結果の影響・不利益については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

このたびはマルチプロトコルLANアダプタをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

PC-PR-L04 マルチプロトコルLANアダプタはNECのプリンタをネットワークプリンタとしてご使用になれるようにするためのネットワークアダプタです。

このLANアダプタを取り付けたプリンタは、ネットワーク上のすべてのユーザーが使用できるようになります。

ネットワーク環境を正確に構築するためにも、本書の説明に従ってLANアダプタを正しく取り扱ってください。

本書の読み方

本書はPC-PR-L04 マルチプロトコルLANアダプタをプリンタに取り付けて、プリンタをネットワークプリンタとして正しくご使用になるための手引き書です。

本書は、ネットワークシステム管理者(アドミニストレータ)を対象として書かれています。本書を参照してプリンタをネットワークにインストールする場合は、ネットワーク環境やネットワークOSなどについての予備知識が必要です。もし、アドミニストレータ以外の方がインストールをするときはご利用になるネットワークのアドミニストレータと相談の上、インストールを行ってください。

本書の読み方を次に示します。

初めにお読みください

- 箱の中身を確認する「箱の中身について」(viページ)
- 使用上の注意を確認する「装置を正しく動作させるために」の2ページ
- 各部の名称を覚える「LANアダプタについて」の6ページ
- 使用できる環境を確認する「LANアダプタについて」の7ページ
- プリンタと接続する「取り付けと接続」の9ページおよびプリンタに添付のユーザーズマニュアルの「オプション」の章
- ケーブルと接続する「取り付けと接続」の10ページ
- 取り付け後の確認をする「取り付けと接続」の13ページ

読み分けてください

ネットワークプリンタとしての設定は、ご使用になるオペレーティングシステム(OS)によって異なります。本書では、OSごとに分けて設定方法を説明しています。

NetWareで使用する場合	NetWare編(17ページ)
Windows NTで使用する場合	Windows NT編(37ページ)
Windows 95で使用する場合	Windows 95編(55ページ)
LAN Managerで使用する場合	LAN Manager編(63ページ)
LAN Serverで使用する場合	LAN Server編(63ページ)
UNIXで使用する場合	UNIX編(69ページ)

必要に応じてお読みください

うまく動作しないときは 「故障かな?と思ったときは」
(77ページ)


修理に出したいときは 「アフターサービス」
(82ページ)

画面上の文字の表記について

本マニュアルではメニュー、ボタン、ダイアログボックスなど、画面上に表示される文字を原則として角カッコ([])で囲んで示します。アクセスキー(ショートカットキー)やダイアログボックスが表示されることを示す「...」は表記していません。

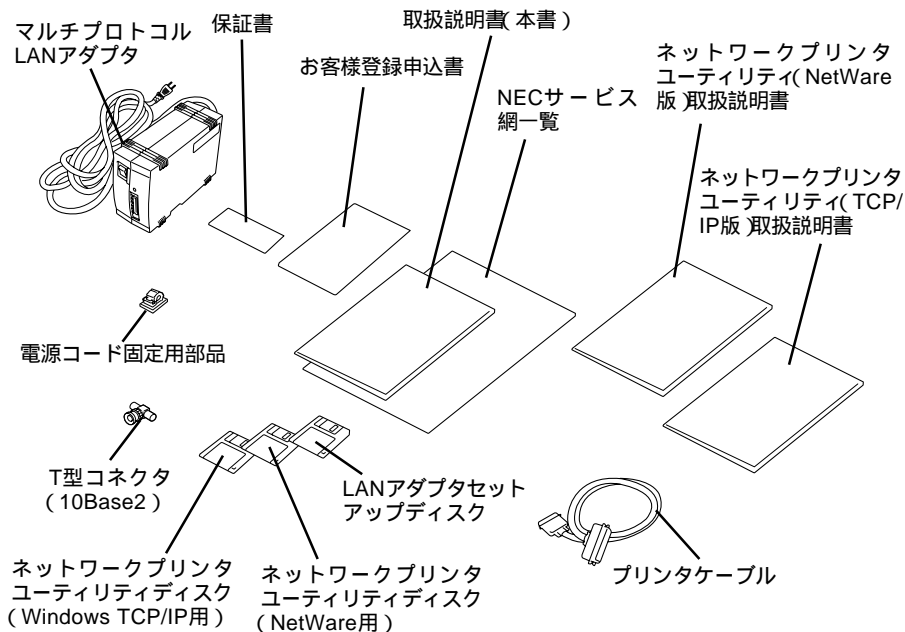
(例) [プリンタ番号] ボタン、[ネットワーク]ダイアログボックス

本文中の記号について

本文中の記号「」はLANアダプタの取り扱いやセットアップを行う上で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。注意を守って取り扱ってください。

箱の中身について

箱を開けて、まず次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、お買い上げの販売店に連絡してください。



- レ 本製品にはLANケーブルは添付されておりません。「取り付けと接続」を参照して、適切なLANケーブルを別途お求めください。
- レ 保証書とNECサービス網一覧表は、アフターサービスをお受けになられるときに必要になりますので、大切に保管してください。
- レ お客様登録申込書は所定の事項を記入の上、登録センターへお送りください。
- レ 添付のフロッピーディスクのバックアップディスクを作成してください。

目次

安全上のご注意

はじめに	iii
本書の読み方	iv
箱の中身について	vi

装置を正しく動作させるために

設置場所について	1
使用上のご注意	2
設置後は	3

LANアダプタについて

特長	5
各部の名称	6
前面	6
底面	6
背面	6
動作環境	7
Ethernet (B468011)	7

取り付けと接続

プリンタへの接続	9
ネットワークへの接続	10
電源コードの接続	12
電源のON	12
コンフィギュレーションページの印刷	13
ネットワークOSへのセットアップ	15

セットアップ ~ NetWare編 ~

使用環境に合わせたセットアップを選ぶ	17
NetWare 4.1J/4.11 Jでのセットアップ	18
OSへの設定をする	18
プリントサーバモードのセットアップ	18
リモートプリンタモードのセットアップ	25
プリンタ(LANアダプタ)の設定をする	28
NetWare 3.11J/3.12 Jでのセットアップ	30
NPD LモードとESC/Pモードの切り替え	33
切り替えファイルのインストール	33
プリントデバイスの登録	33
プリントジョブの定義	34

セットアップ ~ Windows NT編 ~

使用環境に合わせたセットアップを選ぶ	37
DLCプロトコルを使用する	38
Windows NT 4.0へのセットアップ	38
DLCプロトコルのインストール	38
プリンタのインストール	40
Windows NT 3.1/3.5/3.51へのセットアップ	42
DLCプロトコルのインストール	42
ネットワークプリンタの作成と接続	42
lpr(TCP/IP)プロトコルを使用する	45
Windows NT 4.0へのセットアップ	45
Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール	45
lpr互換プリンタのインストール	46
Windows NT 3.5/3.51へのセットアップ	48
TCP/IPネットワーク印刷サポートのインストール	48
ネットワークプリンタの作成と接続	49
IPアドレスを設定する	51
IPアドレス設定ユーティリティを使う	51
Windows NTのコマンドを使う	52

セットアップ ~ Windows 95編 ~

プリンタのIPアドレスの設定	5 5
IPアドレスを設定する	5 6
NEC TCP/IP Printing Systemのインストール	5 7
インストールの方法	5 7
プリンタの作成	5 9
プリンタポートの追加方法	6 0

セットアップ ~ LAN Manager編 / LAN Server編 ~

使用環境に合わせたセットアップを選ぶ	6 3
LAN Manager 2.1/LAN Server 3.0へのセットアップ	6 4
ソフトウェアのインストール	6 4
ネットワークプリンタの作成・変更	6 7
LAN Manager 2.1を使用する場合	6 7
LAN Server 3.0を使用する場合	6 8

セットアップ ~ UNIX編 ~

IPアドレスの設定	6 9
ホストコンピュータ側のセットアップ	7 2
lprコマンドを使用する場合	7 2
印刷方法	7 4
ftpコマンドによる転送	7 4
lprコマンドによる転送	7 6

故障かな?と思ったら

NetWareをご使用の方へ	7 7
Windows NTをご使用の方へ	7 8
LAN Manager/LAN Serverをご使用の方へ	7 8
UNIXシステム環境でご使用の方へ	7 9

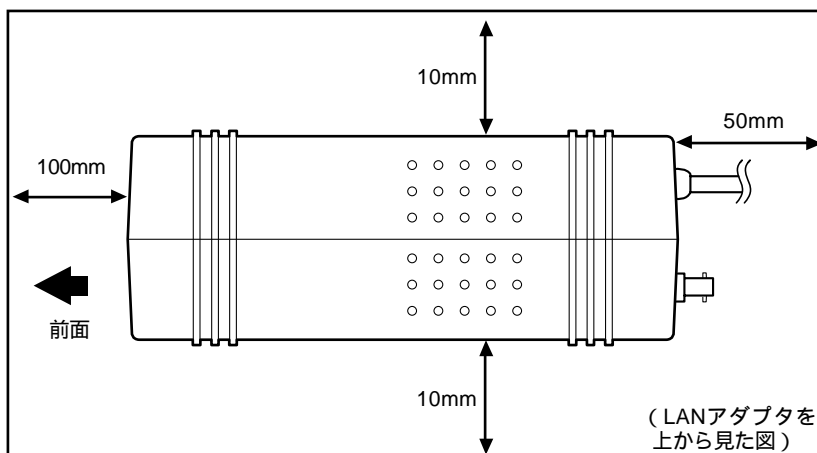
アフターサービスについて

保証について	82
修理に出される前に	82
寿命について	83
補修用部品について	83
索引	85

装置を正しく動作させるために

LANアダプタを正しく動作させるために、次に示す注意事項を守ってください。

設置場所について



- レ 次の図に示すスペースをとってLANアダプタを設置してください。
- レ LANアダプタの設置の際、添付の電源コード固定用部品を使用して、電源コードを机上に固定することをお勧めします。
その際、電源コードを壁、床には固定しないでください。
- レ 温度変化の激しい場所(暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く)には設置しないでください。温度変化により結露現象が起これば故障の原因となることがあります。
- レ じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。

- レ 腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。
- レ 強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。

使用上のご注意

LANアダプタを取り扱うときは次の点について注意してください。

- レ プリンタを確認する
プリンタに添付のマニュアルを参照して、プリンタのオプションとして本アダプタを取り付けられることを確認してください。
- レ ケーブルの取り付け、取り外しは電源を切ってから
プリンタケーブル、LANケーブルの取り付け、取り外しを行うときには、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。電源が入ったまま行くと誤作動や故障の原因となることがあります。
- レ 手順に従ってプリンタに取り付ける
プリンタへの取り付け手順はプリンタに添付のマニュアルで詳しく説明しています。プリンタのマニュアルも併せて参照してください。
- レ 指定のLANケーブルを使用する
LANケーブルはNEC指定のものをお使いください。たとえ取り付けることができても、正常動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- レ ネットワーク管理者(アドミニストレータ)が作業をする
アダプタを取り付けたプリンタのネットワークへのインストールは、ネットワーク管理者が行ってください。

↳ NetWare環境で使われる場合

ISDNルータ等を使用し公衆回線を通して遠隔地のLANと接続した環境で本製品を使用する場合は、遠隔地のNetWareサーバのSAP情報を受信後、そのNetWareサーバに定期的に接続を行い、回線利用料金を増加させる場合があります。このようなLAN環境下で特に遠隔地のNetWareファイルサーバにLANアダプタを接続させる必要がない場合は、SAPパケットを遮断するか、ネットワークプリンタユーティリティ(添付の取扱説明書(NetWare版)の「管理者ユーティリティ」の「NetWare設定ウィンドウ」を参照)を使って接続するファイルサーバを特定してください。

設置後は

- ↳ 装置上面の排気口をふさがないでください。また排気口の上に物をのせないでください。装置内の温度が異常に高くなると正しく動作しなくなることがあります。
- ↳ 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置等を使用することをお勧めします。

LANアダプタについて

PC-PR-L04 マルチプロトコルLANアダプタは、Ethernet(B4680II)でのLANにNECプリンタを接続するためのネットワークアダプタです。

特 長

さまざまなNECプリンタに対応

次に示すモデルのプリンタをLANアダプタに接続すると、ネットワークプリンタとして使用できます (1997年6月現在)。

PICTY400(PC-PR101/J400)、 PICTY300(PC-PR101/J300)

PICTY200(PC-PR101/J200)、 PICTY180(PC-PR101/J180)

PC-PR201/87LA、 PC-PR201/65LA、 PC-PR201/65、 PC-PR201/40、

PC-PR101/63、 PC-PR700J、 PC-PR700X、 PC-PR700/55A、

PC-PR750/150、 PC-PR750/150R、 PC-PR1000E/4W、 PC-PR1000EW

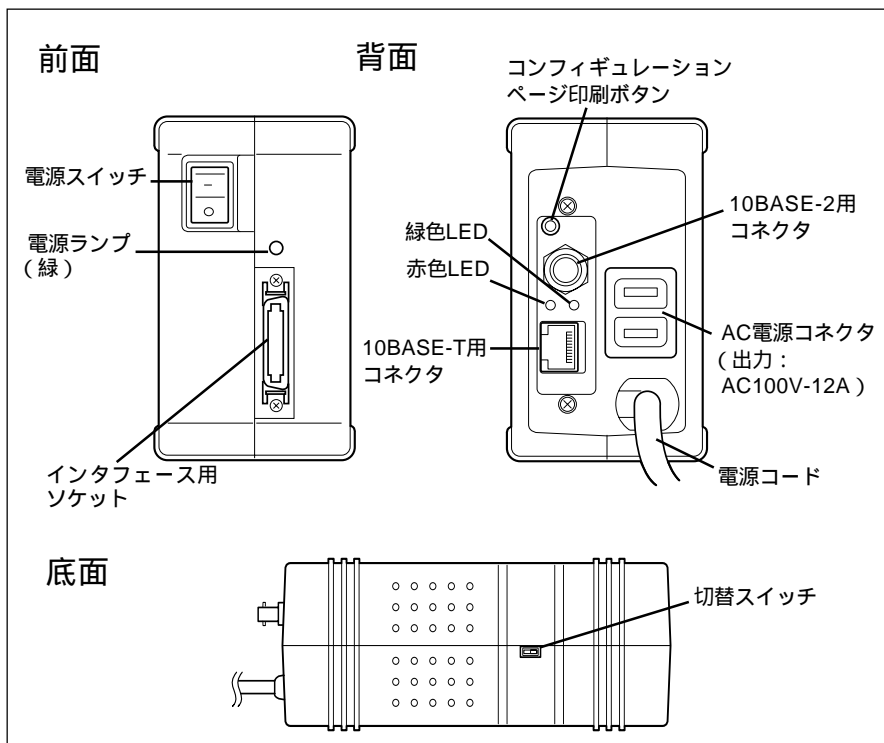
各種ネットワークOSに対応

次のネットワークOSに対応し、様々なLAN環境で使用することができます。

- ↳ NetWare
- ↳ Windows NT
- ↳ Windows 95(peer to peer)
- ↳ LAN Manager / LAN Server
- ↳ UNIXシステム

各部の名称

LANアダプタの各部の名称を示します。



レ コンフィギュレーションページ印刷ボタン:

このボタンを押すと、コンフィギュレーションページが印刷されます。このボタンを押しながらLANアダプタの電源をONにして15秒以上押し続けるとLANアダプタのネットワークに関する設定が工場出荷時の設定に戻ります。

レ 赤色LED :

送信状態を表します。

レ 緑色LED :

受信(トラフィック)状態を表します。

レ AC電源コネクタ :

プリンタに電源を供給することができるコネクタです。
(出力:AC100V-12A)

レ 切替スイッチ :

本スイッチは、将来の拡張用です。工場出荷の状態(U側)でご使用ください。

動作環境

LANアダプタを取り付けたプリンタは、Ethernet(B4680II)のLAN環境で動作します。

Ethernet (B4680II)

- レ シンワイヤEthernet (10BASE2)
- レ ツィステイドペアEthernet(10BASE-T)

Ethernetでは各ネットワークOSごとに、次のようなフレームタイプに対応しています。

EthernetではネットワークOSごとに、次のようなフレームタイプに対応しています。

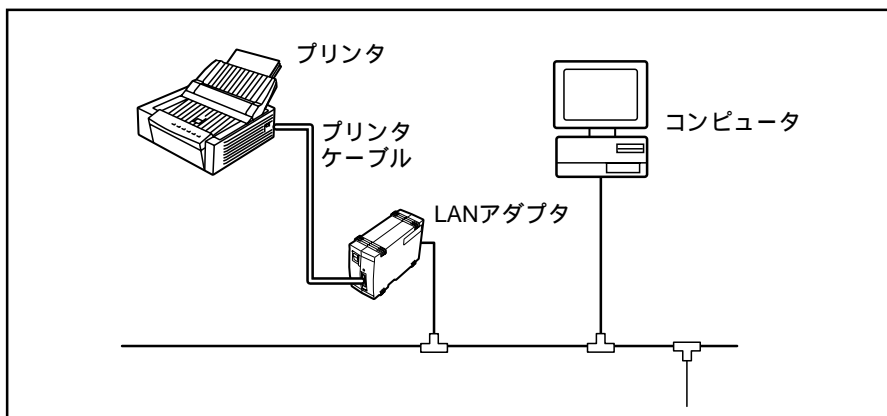
フレームタイプ			
IEEE 802.2	IEEE 802.3	Ethernet II	SNAP
Windows NT (DLC)	LAN Manager (NetBEUI)	UNIX (TCP/IP) Windows NT (TCP/IP) Windows 95 (peer to peer) (TCP/IP)	

取り付けと接続

LANアダプタをプリンタやネットワークへ接続し、接続後の確認をします。

プリンタへの接続

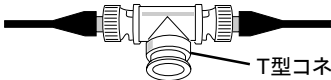
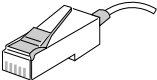
LANアダプタとプリンタを添付のセントロニクス・インタフェースケーブル(プリンタケーブル)で接続します。



- 1 LANアダプタとプリンタの電源スイッチをOFFにし、電源コードをACコンセントから抜いてください。
- 2 プリンタケーブルのコネクタの小さい方をLANアダプタ前面のインタフェース用ソケットに差し込みます。
- 3 プリンタケーブルのもう一方のコネクタをプリンタのインタフェース用ソケットに差し込み、両端のロックスプリングで固定します。プリンタは、機種によってソケットの位置が異なります。詳しくは使用するプリンタのマニュアルをご覧ください。

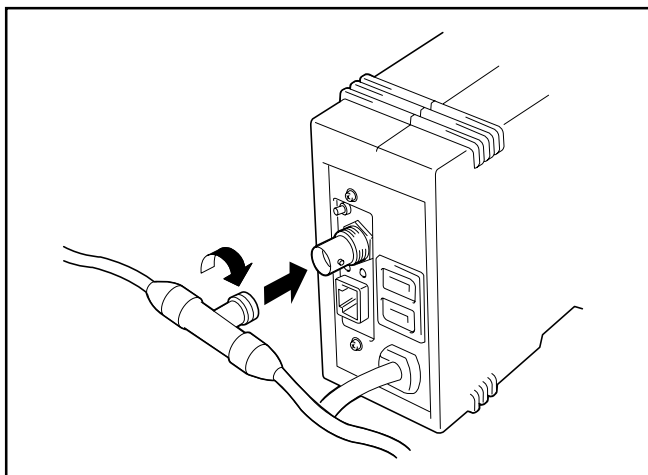
ネットワークへの接続

プリンタとの接続が終わりましたら、LANケーブルをLANアダプタに接続します。このLANアダプタには、LANケーブルに接続するコネクタが2種類用意されています。LANケーブルは添付されておりませんので、次の表に従って適切なLANケーブルを別途お買い求めの上、いずれかのケーブルをLANアダプタに接続してください。

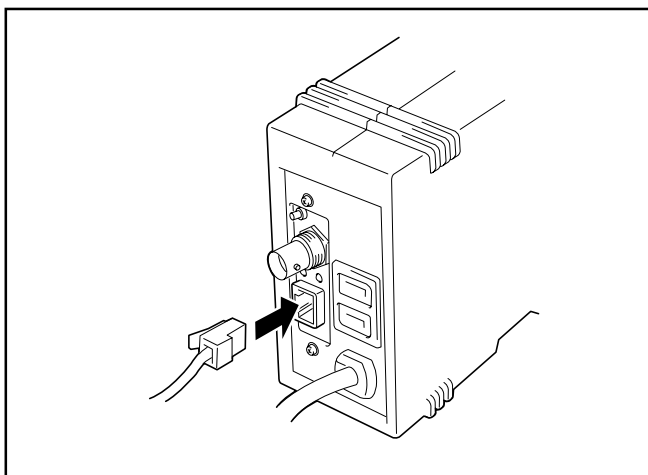
ケーブルタイプ	コネクタの形状	型番
Ethernet (10Base2)	 T型コネクタ*	PC-9867-21 PC-9867-22 PC-9867-23
Ethernet (10Base-T)		PC-9868-21 PC-9868-22 PC-9868-28 PC-9868-29

* Ethernet(10Base2)ケーブルどうしの接続およびプリンタへの接続時に使用するT型コネクタはLANアダプタに添付のものを使用してください。

シンワイヤーサネット(10BASE2)に接続する場合



ツイステッドペアイーサネット(10BASE-T)に接続する場合



- レ ケーブルを接続する前に、他のネットワーク利用者が印刷やファイルの転送を行っていないことを確認してください。
- レ プリンタと LANアダプタの電源を必ずOFFにしてからケーブルの接続を行ってください。ONのまま接続するとプリンタの誤動作の原因となります。
- レ LANアダプタの電源をONにするとき、10Base2コネクタと10Base-Tコネクタの両方にケーブルを接続していると誤動作の原因となりますのでどちらか1つのコネクタにのみケーブルを接続してください。

電源コードの接続

- 1 プリンタの電源コードのプラグをLANアダプタ背面のAC電源コネクタに差し込みます。



注意

LANアダプタのAC電源コネクタに接続できるプリンタは、最大消費電力が450W以下のものに限られます。また、プリンタ以外の機器の接続およびタコ足配線はしないでください。火災の原因になることがあります。

- 2 LANアダプタの電源コードのプラグを壁付きコンセント(AC100V、電源容量12A以上)に差し込みます。



電源コードが引っ張られたりしてLANアダプタが倒れたりしそうな場合は、添付の電源コード固定部品を使って机上に電源コードを固定してください。

電源のON

「電源コードの接続」に示す手順で物理的な接続は終わりです。次に、プリンタ、LANアダプタの順で電源スイッチをONにしてください。電源をONにするとLANアダプタはハードウェアテストを開始します。
続いてコンフィギュレーションページを印刷してください。



セットアップはプリンタとプリンタケーブルで接続されている状態でプリンタの電源をONにして行ってください。

コンフィギュレーションページの印刷

電源ON後、プリンタが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったら、コンフィギュレーションページ印刷ボタンを押して、コンフィギュレーションページを印刷します。



コンフィギュレーションページを印刷する前に用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は、プリンタのユーザーズマニュアルを参照してセットしてください。

しばらくすると、ネットワークに関するLANアダプタの設定状況が印刷されません。このコンフィギュレーションページを参照して各ネットワークOSへのセットアップをしてください。

また、ネットワークへのセットアップ後やLANアダプタの設定を変更した後は必ずコンフィギュレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

次にコンフィギュレーションページの印刷例を示します。

Release xx.xx XH NEC Ethernet Flash
(C) Copyright 1992-1995 ITC Ltd.

Node Number(H/W Address) : xx:xx:xx:xx:xx:xx

NetWare (IPX/SPX)

Printserver Name : "NP_XXXXXX"
Fileserver Limited : ""
Remote Printer Mode : Disabled
Remote Printer Number: 0
EXT.Function : Disabled
Total Servers Found: 0
Total Servers Logged: 0
Total Queues Logged: 0
Logged as Rprinter #: --

Windows NT (DLC)

Name : "xx:xx:xx:xx:xx:xx"

LAN Manager/Server (NetBEUI)

Name : "NP_XXXXXX"

Windows NT, UNIX (TCP/IP)

IP Address: 11.22.33.44
Subnet Mask: 255.0.0.0
Auto IP Set: Enabled

ネットワークOSへのセットアップ

コンフィギュレーションページを出力後、それぞれのネットワークOSへのセットアップを行います。次の表を参照して、該当するページに進んでください。

ネットワークOS	プロトコル	参照ページ
NetWare 3.11J / 3.12J NetWare 4.1J / 4.11J(バインダリエミュレーションモード) IntranetWare(4.11J)(バインダリエミュレーションモード)	IPX/SPX	17ページ
Windows NT 3.1(日本語版) Windows NT Advanced Server 3.1(日本語版)	DLC	37ページ
Windows NT 3.5 Server(日本語版) Windows NT 3.5 Workstation(日本語版) Windows NT 3.51 Server(日本語版) Windows NT 3.51 Workstation(日本語版) Windows NT 4.0 Server(日本語版) Windows NT 4.0 Workstation(日本語版)	DLC TCP/IP	
Windows 95(日本語版)	TCP/IP	55ページ
LAN Manager 2.1(日本語版) LAN Server 3.0(日本語版)	NetBEUI	63ページ
UNIX	TCP/IP	69ページ

セットアップ ~ NetWare編 ~

この章では、NetWare環境に合わせてプリンタを設定する方法について説明します。設定の際には、NetWareのマニュアルも参照してください。



ISDNルータ等を使用し公衆回線を通して遠隔地のLANと接続した環境でマルチプロトコルLANアダプタを使用する場合は、次のことにご留意ください。

マルチプロトコルLANアダプタを、遠隔地にあるNetWareファイルサーバのSAPパケットをルータが通過する設定で使用すると、SAP情報により遠隔地のNetWareファイルサーバに対して定期的に接続を試み、回線利用料金を増加させる場合があります。

このようなLAN環境下で特に遠隔地のNetWareファイルサーバにLANアダプタを接続させる必要がない場合は、SAPパケットを遮断するか、ネットワークプリンタユーティリティNetWare版(添付の取扱説明書「管理者ユーティリティ」の「NetWare設定ウィンドウ」を参照)を使用して接続するファイルサーバを特定してください。

また、Netwareプリントサーバ機能を無効にしたい場合は、存在しないファイルサーバ名を指定して使用してください(例「DISABLE」)。

使用環境に合わせたセットアップを選ぶ

このLANアダプタはNetWare 3.11J / 3.12J / 4.1J / 4.11Jに対応しています。



このLANアダプタはバインダリエミュレーションでのみ動作します。

NetWare 4.1J/4.11Jでのセットアップについては次ページを、NetWare 3.11J / 3.12Jでのセットアップについては30ページを参照してください。



セットアップはプリンタとプリンタケーブルで接続されている状態でプリンタの電源をONにして行ってください。

NetWare 4.1J/4.11 Jでのセットアップ

NetWare 4.1JおよびNetWare 4.11J(IntranetWare)でのセットアップの方法を次に示します。

バインダリエミュレーションモードでの接続

NetWare4.xJへプリンタをセットアップする前にNetWare4.xJのマニュアル(またはオンラインマニュアル『プリントサービス』の「第6章 NetWare4.xJでサードパーティ製のネットワークダイレクトプリントデバイスを使用する」の項を必ずお読みください。

NetWare4.xJ環境でプリンタを使用する場合は、4.xJで作成されるオブジェクトがバインダリで確認できる必要があります。サーバがバインダリエミュレーションモードに設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、SET BINDERY CONTEXTコマンドを使用して、バインダリエミュレーションモードを設定してください。SET BINDERY CONTEXTコマンドについてはNetWare4.xJのマニュアル『ユーティリティリファレンス』のSETコマンドを参照してください。

NetWare4.xJ環境でプリンタの設定を行うにはPCONSOLEによる設定とNetWareアドミニストレータによる設定の2通りの方法があります。NetWareアドミニストレータについての詳しい説明についてはNetWare4.xJのマニュアル『プリントサービス』を参照してください。

OSへの設定をする

まず初めにNetWare OSへの設定を行います。設定はプリントサーバモードとリモートプリンタモードの2つの方法があります。

プリントサーバモードのセットアップ

プリントサーバモードでNetWare OSに設定します(リモートプリンタモードで設定するときは25ページを参照してください)。

PCONSOLEによる設定(プリントサーバquickセットアップ)

NetWareアドミニストレータで設定するときは26ページへ進んでください。

- 1 アドミニストレータ特権のユーザAdmin(NDSモード)としてログインします。
- 2 NetWareユーティリティPCONSOLEを実行します。



利用可能な項目画面の[プリントサーバquickセットアップ]を選択し、新しいプリントサーバ名、新しいプリンタ名、新しいプリントキュー名を入力します。プリントサーバ名やそれぞれの名称には、半角英数大文字で任意の名前を入力してください。



プリントサーバ、プリンタ、プリントキューのそれぞれのオブジェクトは同一ディレクトリに作成してください。

これでNetWare OSへの設定は終了です。続いてプリンタ(LANアダプタ)の設定(28ページ)へ進んでください。

NetWareアドミニストレータによる設定(プリントサーバ)

- 1 アドミニストレータ特権のユーザAdmin(NDSモード)としてログインします。
- 2 NetWareアドミニストレータを実行します。

NetWareアドミニストレータの実行方法については、NetWare4.1Jのマニュアルを参照してください。

3 プリントサーバを作成します。

プリントサーバを作成するコンテナオブジェクトにカーソルを移動します。



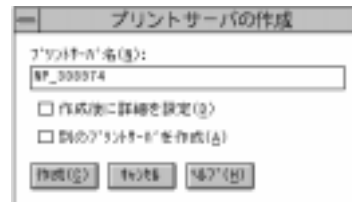
[オブジェクト]メニューから[作成]を選択します。



新しいオブジェクトクラス画面のプリントサーバを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



プリントサーバの作成画面のプリントサーバ名(任意)を入力し、[作成]ボタンをクリックします。



プリントサーバ名(任意)は、半角英数字文字で入力してください。

これでプリントサーバが作成できました。

4 プリントサーバの作成と同様の手順でプリンタを作成します。

プリントサーバを作成したコンテナオブジェクトにカーソルを移動し、メニューバーの[オブジェクト]の[作成]を選択します。

新しいオブジェクトクラス画面の[プリンタ]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



プリンタの作成画面のプリンタ名に任意の名前を入力し、[作成]ボタンをクリックします。



これでプリンタが作成できました。

5 プリントサーバ、プリンタの作成と同様の手順でプリントキューを作成します。

プリントサーバ、プリンタを作成したコンテナオブジェクトにカーソルを移動し、メニューバーの[オブジェクト]の[作成]を選択します。

新しいオブジェクトクラス画面のプリントキューを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



プリントキューの作成画面ではディレクトリサービスキューを選択し、プリントキュー名に、半角英数大文字で任意の名前を入力します。



プリントキューの作成画面のプリントキューボリュームのコンボボックスをクリックし、オブジェクトの選択画面でオブジェクトに表示されたサーバを選択して、[OK]ボタンをクリックします。



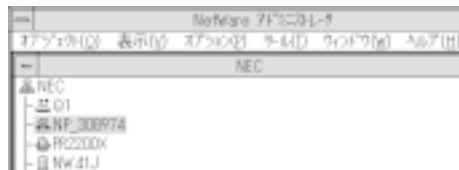
プリントキューの作成画面で [作成] ボタンをクリックします。



これでプリントキューが作成できました。

6 プリントサーバにプリンタを割り当てます。

ツリー上に設定されたプリントサーバを選択して、



[プリントサーバ]ウィンドウを
表示させます。



[割り当て]ボタンをクリック
します。



[追加]ボタンをクリックし
ます。

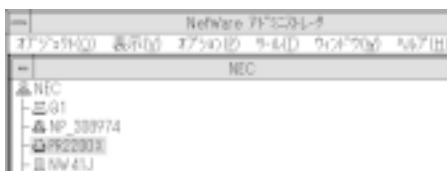


先ほど作成したプリンタを選択します。



これでプリントサーバにプリンタが割り当てられました。

- 7 ツリー上に設定されたプリントサーバを選択し、プリントサーバへのプリンタの割り当てと同様の手順でプリンタにプリントキューを割り当てます。



これでNetWare OSへの設定は終了です。続いてプリンタ(LANアダプタ)の設定(28ページ)へ進んでください。

リモートプリンタモードのセットアップ

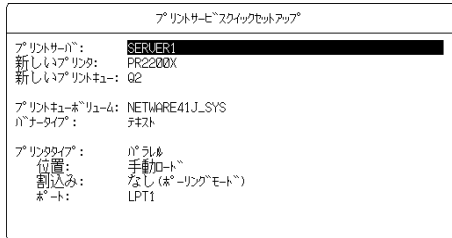
リモートプリンタモードでNetWare OSに設定します(プリントサーバモードで設定するときは18ページを参照してください)。

PCONSOLEによる設定(リモートプリンタクイックセットアップ)

- 1 アドミニストレータ特権のユーザAdmin(NDSモード)としてログインします。
- 2 NetWareユーティリティPCONSOLEを実行します。



利用可能な項目画面の「クイックセットアップ」を選択し、プリントサーバ名、新しいプリンタ名、新しいプリントキュー名を入力します。プリントサーバ名には、リモートプリントサーバ名(PSERVER実行時に指定されるプリントサーバ専用ワークステーションプリントサーバ名)を入力します。



- レ 既に存在するプリントサーバを選択する場合には、そのプリントサーバ名を選択し、新規に作成する場合には半角英数大文字の任意な名前を入力してください。新しいプリンタ名、新しいプリントキュー名には、半角英数大文字で任意な名前を入力してください。
- レ プリントサーバ、プリンタ、プリントキューのそれぞれのオブジェクトは同一ディレクトリに作成する必要があります。

- 3 利用可能な項目画面の [プリタ] を選択し、プリンタ番号(リモートプリンタ番号)を0 ~ 255の範囲で設定してください。

プリンタ PR2300X の環境設定	
プリントサーバ:	SERVER1
プリンタ番号:	0
プリンタステータス:	(使用不能)
プリンタタイプ:	IP プリンタ
環境設定:	(フォーム参照)
開始用紙:	0
ドットサイズ (KB単位):	3
ドットタイプ:	テキスト
用紙サイズモード:	キュー内での用紙最小限変更
ソフトウェア間隔:	5
プリントキュー割当て:	(リスト参照)
通知:	(リスト参照)

これでNetWare OSへの設定は終了です。続いてプリンタ(LANアダプタ)の設定(28ページ)へ進んでください。

NetWareアドミニストレータによる設定(リモートプリンタ)

- 1 アドミニストレータ特権のユーザAdmin(NDSモード)としてログインします。
- 2 NetWareアドミニストレータを実行します。
NetWareアドミニストレータの実行方法についてはNetWare4.1Jのマニュアルを参照してください。
- 3 プリントサーバ、プリンタ、プリントキューを作成し、割り当てます。
プリントサーバ名には、リモートプリントサーバ名(PSERVER実行時に指定されるプリントサーバ専用ワークステーションプリントサーバ名)を入力します。



プリントサーバの作成画面では、既に存在するプリントサーバを選択する場合には、そのプリントサーバ名を選択し、新規に作成する場合には、半角英数大文字の任意な名前を入力してください。

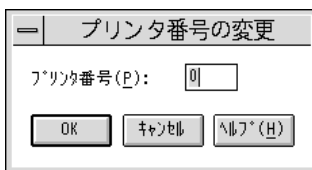
19ページの「NetWareアドミニストレータによる設定(プリントサーバ)」を参照し、プリントサーバ、プリンタ、プリントキューの作成・割り当てを行ってください。

4 プリンタ番号(リモートプリンタ番号)を設定します。

ツリー上に設定されたプリントサーバを選択し、[割り当て]ボタンをクリックします。プリントサーバに割り当てたプリンタを選択して、[プリンタ番号]ボタンをクリックします。



プリンタ番号を0～255の範囲で設定します。



これでNetWare OSへの設定は終了です。続いてプリンタ(LANアダプタ)の設定(28ページ)へ進んでください。

プリンタ(LANアダプタ)の設定をする

LANアダプタを内蔵したプリンタ(以下「プリンタ」)の設定を添付のネットワークプリンタユーティリティ(NetWare版)を使用して行います。



- チ ユーティリティをインストールしていない場合は、別冊の「ネットワークプリンタユーティリティ(NetWare版)取扱説明書」を参照してインストールしてください。
- チ セットアップはプリンタとプリンタケーブルで接続されている状態でプリンタの電源をONにして行ってください。

1 アドミニストレータ特権のユーザAdmin(NDSモード)としてログインします。

2 管理者ユーティリティを起動します。

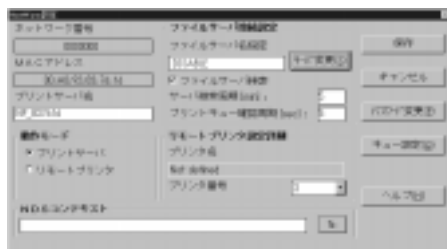
管理者ユーティリティウィンドウが表示されます。

3 設定するプリンタを選択して、[NetWare] ボタンをクリックします。

NetWare設定ウィンドウが表示されます。



4 プリントサーバ名に「OSへの設定をする」で設定したプリントサーバ名を入力します。



リモートプリンタモードで使用する場合

プリントサーバ名には、リモートプリントサーバ名(PSERVER実行時に指定されるプリントサーバ専用ワークステーションプリントサーバ名)を入力します。

- 5 [ファイサーバ接続設定]の[ファイルサーバ名指定]にファイルサーバ名を指定します。[サーバ変更]ボタンを押しファイルサーバリストからファイルサーバ名を選択するか、直接ファイルサーバ名を入力してください。



ISDNルータ等を使用し公衆回線を通して遠隔地のLANと接続した環境でマルチプロトコルLANアダプタを使用する場合は、次のことにご留意ください。

マルチプロトコルLANアダプタに、接続ファイルサーバ名を指定せずに遠隔地にあるNetWareファイルサーバのSAPパケットをルータが通過する設定で使用すると、SAP情報により遠隔地のNetWareファイルサーバに対して定期的に接続を試み、回線利用料金を増加させる場合があります。

このようなLAN環境下で特に遠隔地のNetWareファイルサーバにLANアダプタを接続させる必要がない場合は、SAPパケットを遮断するか、必ずファイルサーバ名を指定してください。

- 6 プリンタの動作モードを選択します。
- リモートプリンタモードで使用する場合は、リモートプリンタ設定詳細でプリンタ番号を選択します。
- 7 設定を保存して管理者ユーティリティを終了します。
- 8 テスト印刷をして正しく印刷されることを確認します。



NetWareサーバへのログインには約2分かかります。

以上でセットアップは終了です。

NetWare 3.11J/3.12 Jでのセットアップ

NetWare 3.11J / 3.12Jでのセットアップでは添付のNetWare用ネットワークプリンタユーティリティを使用します。



プリンタユーティリティをインストールしていない場合は、別冊の「ネットワークプリンタユーティリティ(NetWare版)取扱説明書」を参照してインストールしてください。

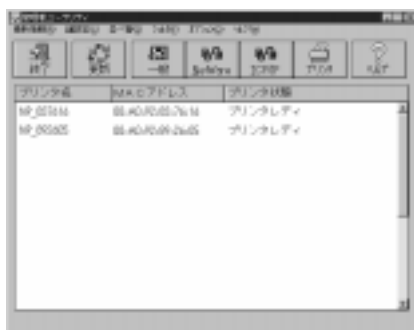
1 スーパーバイザ特権のユーザとしてログインします。

2 管理者ユーティリティを起動します。

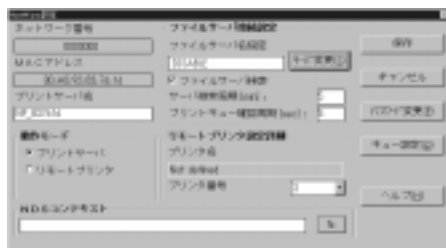
管理者ユーティリティウィンドウが表示されます。

3 設定するプリンタを選択して[NetWare]ボタンをクリックします。

NetWare設定ウィンドウが表示されます。



4 プリントサーバ名を入力します。



リモートプリンタモードで使用する場合

プリントサーバ名には、リモートプリントサーバ名(PSERVER実行時に指定されるプリントサーバ専用ワークステーションプリントサーバ名)を入力します。



プリントサーバ名には、半角大文字の英字と数字、"-"(ハイフン)、“_”(アンダバー)のみ使用できます。

- 5 [ファイサーバ接続設定]の[ファイルサーバ名指定]にファイルサーバ名を指定します。[サーバ変更]ボタンを押してファイルサーバリストからファイルサーバ名を選択するか、直接ファイルサーバ名を入力してください。



ISDNルータ等を使用し公衆回線を通して遠隔地のLANと接続した環境でマルチプロトコルLANアダプタを使用する場合は、次のことにご留意ください。

マルチプロトコルLANアダプタに、接続ファイルサーバ名を指定せずに遠隔地にあるNetWareファイルサーバのSAPパケットをルータが通過する設定で使用すると、SAP情報により遠隔地のNetWareファイルサーバに対して定期的に接続を試み、回線利用料金を増加させる場合があります。

このようなLAN環境下で特に遠隔地のNetWareファイルサーバにLANアダプタを接続させる必要がない場合は、SAPパケットを遮断するか、必ずファイルサーバ名を指定してください。

- 6 プリンタの動作モードを選択します。

リモートプリンタモードで使用する場合は、リモートプリンタ設定詳細でプリンタ番号を選択します。

リモートプリンタモードで使用する場合はプリンタ番号を選択します。

- 7 [キュー設定]ボタンをクリックします。

NetWareキュー設定ウィンドウが表示されます。

[キュー設定]ボタンが押されない場合は、[サーバ変更]ボタンを押して、ファイルサーバにログインしてください。



8 [プリントキュー名]を選択または入力して、[追加]ボタンをクリックします。

キューが作成されます。

9 [OK]ボタンをクリックします。

NetWare設定ウィンドウに戻ります。

10 設定を保存して管理者ユーティリティを終了します。

11 テスト印刷をして正しく印刷されることを確認します。



NetWareサーバへのログインには約2分かかります。

以上でセットアップは終了です。

NPDLMモードとESC/Pモードの切り替え

ここでは、ESC/Pエミュレーションを使用して印刷するための設定について説明します。この設定を行うことにより、NPDLMプリンタドライバを持たないクライアントPCから、ESC/Pドライバを使用して印刷を行うことができます。



本設定は、NPDLMおよびESC/Pエミュレーションをサポートしているプリンタのみ有効です。NPDLMおよびESC/Pエミュレーションをサポートしていないプリンタに本設定を行うと誤印字する場合がありますのでご注意ください。



切り替えファイルのインストール

切り替えファイル「NECMULTI.PDF」をプリントジョブ環境に設定します。

- 1 スーパバイザ特権のユーザとしてログインします。
- 2 LANアダプタセットアップディスクのディレクトリ「NetWare®PDF」に入っているNECMULTI.PDFファイルをファイルサーバのSYS:PUBLICディレクトリにコピーします。

必要に応じて共有ディレクトリにコピーしてください。

プリントデバイスの登録

- 1 NetWare プリンタ定義ユーティリティ PRINTDEF を起動します。
- 2 [プリントデバイス]を選択し、[プリントデバイス取り込み]へ移ります。
- 3 ディレクトリを指定してを押し、NECMULTI.PDFファイルを選択します。

4 PRINTDEFを終了します。


以上でプリントデバイス機能の登録は終わりです。引き続き、プリントジョブの定義を行ってください。

プリントジョブの定義

- 1 PRINTCONを立ち上げます。


PRINTCON 

- 2 プリントジョブ環境名を設定します。

[プリントジョブ環境編集]ウィンドウを開き、を押します。


プリントジョブ環境名を入力します。


ここでは、「ESCP_JOB」と入力します。


入力したプリンタジョブ環境名[ESCP_JOB]を選択し、を押します。





3 [プリントジョブ環境編集]ウィンドウを開き、各編集を行います。


[プリントキュー:]を選択し、を押します。

対象のキューを選択し、を押します。

[プリントサーバ:]を選択し、を押します。

対象のプリントサーバを選択し、を押します。


[デバイス:]を選択し、を押します。

[NEC_MultiWriter]を選択し、を押します。



4 モードを設定します。

[モード]を選択し、[モード]ウィンドウを開きます。

[ESCPmode]を選択し、を押します。

エミュレーションを切り替えた後はESC/Pモードで印刷処理を行い、印刷終了後NPDLMモードに自動的に戻ります。



モードでは、ESC/Pモードへの切り替えのほか、用紙サイズや縮小印刷を指定することもできます。NPDLMモードについても同様なモードが登録されています。

以上でプリントジョブの定義は終了です。

セットアップ ~ Windows NT編 ~

この章では、Windows NT環境に合わせてプリンタを設定する方法について説明します。

使用環境に合わせたセットアップを選ぶ

このLANアダプタは日本語版のWindows NT 3.1 / 3.5 / 3.51 / 4.0に対応しています。Windows NT では「DLCプロトコル」または「Ipr(TCP/IP)プロトコル」のどちらのネットワークプロトコルを使用して印刷するかによってセットアップの方法が異なります。

DLCプロトコルを使用した印刷

- ㊦ Windows NT 4.0 Server (38ページ)
- ㊦ Windows NT 4.0 Workstation (38ページ)
- ㊦ Windows NT 3.5 / 3.51 Server (42ページ)
- ㊦ Windows NT 3.5 / 3.51 Workstation (42ページ)
- ㊦ Windows NT 3.1 (42ページ)
- ㊦ Windows NT Advanced Server 3.1 (42ページ)

Ipr(TCP/IP)プロトコルを使用した印刷

- ㊦ Windows NT 4.0 Server (45ページ)
- ㊦ Windows NT 4.0 Workstation (45ページ)
- ㊦ Windows NT 3.5 / 3.51 Server (48ページ)
- ㊦ Windows NT 3.5 / 3.51 Workstation (48ページ)



セットアップはプリンタとプリンタケーブルで接続されている状態でプリンタの電源をONにして行ってください。

DLCプロトコルを使用する

次の手順に従ってセットアップを行います。



- レ DLCプロトコルのインストールは、プリンタに印刷データを送るWindows NTにインストールしてください。印刷データをプリンタに直接送らないWindows NTにはインストールする必要はありません。
- レ DLCプロトコルを使用した印刷では、同時に印刷できるNTの台数は2台までです。

Windows NT 4.0へのセットアップ

まず初めに使用するコンピュータにDLCプロトコルをインストールします。すでにDLCプロトコルをインストールされている方はプリンタのインストールへ進んでください。

DLCプロトコルのインストール

- 1 コントロールパネルの [ネットワーク] ダイアログボックスを開きます。



- 2 プロトコルを選択し、追加 をクリックします。



- 3 [ネットワークプロトコルの選択] で [DLCプロトコル] を選択します。



- 4 画面に表示される指示に従ってインストールを完了してください。

プリンタのインストール

1 [プリンタ]ダイアログボックスを開きます。

2 [プリンタの追加]をクリックします。

3 [このコンピュータ]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。



4 [ポートの追加]ボタンをクリックします。



5 利用可能なプリンタポートで[Hewlett-Packard Network Port]を選択し、[新しいポート]ボタンをクリックします。



[Hewlett-Packard Network Port]が表示されない場合は、[DLCポート]サービスをインストールしてください。

- 6 ポート名を入力し、接続するマルチプロトコルLANアダプタのアドレスを選択してから[タイマ]をクリックします。



- 7 接続の[ジョブごと]を選択し[OK]をクリックします。



DLCプロトコルを使用した印刷では、同時に接続できるプリントサーバPCの台数は2台までです。[連続]を選択することで、接続できるプリントサーバPCは1台になり、他のプロトコルからの印刷もされなくなります。

- 8 画面に表示される指示に従ってインストールを完了してください。

Windows NT 3.1/3.5/3.51へのセットアップ

まず初めに使用するコンピュータにDLCプロトコルをインストールします。
すでにDLCプロトコルをインストールされている方はプリンタのインストールへ進んでください。

DLCプロトコルのインストール

DLCプロトコルを組み込むには、コントロールパネルの[ネットワーク]を使います。

- 1 [コントロールパネル]アイコンをダブルクリックします。
- 2 [ネットワーク]をダブルクリックします。
- 3 [ソフトウェアの追加]をクリックします。
- 4 [ネットワークソフトウェアの追加]で[DLCプロトコル]を選択します。
- 5 [ネットワーク]を終了し、システムをリスタートします。
- 6 再び[ネットワーク]を開き、DLCプロトコルがインストールされていることを確認します。

ネットワークプリンタの作成と接続

- 1 コントロールパネルの[プリンタ]をダブルクリックします。
- 2 [プリンタ]メニューの[プリンタの作成]コマンドを選びます。

3 [プリンタ名]ボックスに、プリンタの名前を入力します。

この名前は、プリンタウィンドウのタイトルバーに表示されます。また、ネットワーク上でプリンタを共有している場合には、プリンタに接続するときにWindows NTを実行中のネットワークユーザに対して表示されます。プリンタ名は最大32文字です。

4 [ドライバ]一覧から、プリンタのドライバを選択します。

プリンタが一覧に表示されないときは、互換性のあるドライバを使って、プリンタを組み込むことができます。プリンタのユーザーズマニュアルを参照して、どのドライバを選べるかを判断してください。

5 [説明]ボックスに、任意の説明文を入力します。

この説明文は、ネットワークユーザが、「利用できるプリンタ」に、そのプリンタを追加するときに表示されます。たとえば、プリンタを一定の時間中だけ使えるように設定している場合などです。

6 [印刷先]一覧から、[その他...]を選びます。

7 利用可能な印刷モニタから、Hewlett-Packard Network Portを選択し、[OK]をクリックします。



ネットワークポートが表示されない場合、DLCプロトコルが正しく組み込まれていない可能性があります。もう一度DLCプロトコルのインストールを行い、正しくインストールされているか確認してください。

コンピュータにケーブルで接続しているプリンタを組み込む場合は、ローカルポートを選択します。

8 [ポート名:]にネットワークプリンタのポート名を入力します。

ここでの名称が印刷先として登録されます。

(例) PR2200LAN

- 9 [カードアドレス]にはプリンタのコンフィギュレーションページにNode Addressとして書かれている番号を選択します。



該当するNode Addressが表示されていない場合は、プリンタの電源がOFFになっているか、ネットワークに接続されていない可能性があります。もう一度プリンタの状態を確認してください。

- 10 [タイマ]をクリックし、接続の選択項目で[ジョブごと]を選択します。



DLCプロトコルを使用した印刷では、同時に接続できるプリントサーバPCの台数は2台までです。[連続]を選択することで、接続できるプリントサーバPCは1台になり、他のプロトコルからの印刷もされなくなります。

- 11 作成したプリンタをネットワーク上で共有する場合は、次の作業を行います。

[ネットワーク上で共有]チェックボックスをオンにします。

[共有名]テキストボックスで、プリンタの共有名が作成されます。Windows NTを実行中のコンピュータでは、プリンタに接続すると、そのプリンタ名が調べられます。ただし、MS-DOSを実行中のコンピュータでプリンタに接続するには、MS-DOSの名前付け規則に従った共有名が必要になります。

共有名はプリンタ名に基づいて作成されます。共有名は編集できません。ただし、MS-DOSベースのコンピュータにプリンタを接続する場合は、MS-DOSの名前付け規則に従った半角12文字以内の名前にしなければなりません。

自分の文書が印刷されるプリンタの場所がユーザにわかるように、[設置場所]テキストボックスにプリンタの場所の説明を入力します。利用できるプリンタの一覧にプリンタを追加すると、そのプリンタの設置場所が[プリンタの接続]ダイアログボックスに表示されます。

[OK]をクリックします。

以上でネットワークプリンタの作成は終了です。

lpr(TCP/IP)プロトコルを使用する

lpr(TCP/IP)プロトコルを使用した印刷を行うための方法を次に示します。



- レ lpr(Microsoft TCP/IP印刷サービス)のインストールは、プリンタに印刷データを送るWindows NTにインストールしてください。印刷データをプリンタに直接送らないWindows NTにはインストールする必要はありません。
- レ lprを使用した印刷では、同時に印刷できるNTの台数は8台までです。

Windows NT 4.0へのセットアップ

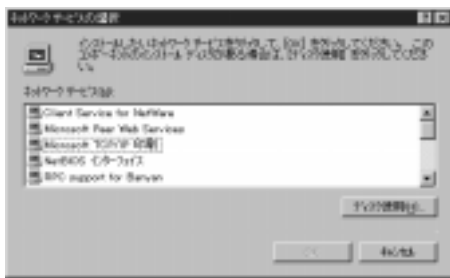
まず初めに使用するコンピュータにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている方はプリンタの「lpr互換プリンタのインストール」へ進んでください。

Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされており設定が完了している必要があります。

TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NTのヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。

- 1 コントロールパネルの[ネットワーク]ダイアログボックスを開きます。
- 2 サービスを選択し、[追加]ボタンをクリックします。
- 3 [ネットワークサービス]の一覧から[Microsoft TCP/IP印刷]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



- 4 画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

lpr互換プリンタのインストール

lpr互換プリンタのインストールについては、Windows NTのヘルプ「LPR 互換プリンタをインストールするには」も併せて参照してください。

1 [プリンタ]ダイアログボックスを開きます。

2 [プリンタの追加]をクリックします。

3 [このコンピュータ]をクリックし、[次へ]をクリックします。



4 [ポートの追加]をクリックします。



5 [LPR Port]をクリックし、[新しいポート]をクリックします。



[LPR Port]が表示されない場合は、[Microsoft TCP/IP 印刷]サービスをインストールしてください。

- 6 [lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス]ボックスに、追加するプリンタのホストのDNSネームまたは IPアドレスを入力します。
- 7 [コンピュータのプリンタ名、またはサーバのプリンタキュー名]ボックスに、ホストがプリンタを識別するための名前を入力し、[OK]ボタンをクリックします。
- 8 画面に表示される指示に従って、LPR互換プリンタのインストールを完了してください。
- 9 続いてIPアドレスを設定する(51ページ)へ進んでLANアダプタにIPアドレスを設定してください。

Windows NT 3.5/3.51へのセットアップ

まず初めに使用するコンピュータにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている方はプリンタの「ネットワークプリンタの作成と接続」へ進んでください。

TCP/IPネットワーク印刷サポートのインストール

次の手順でインストールを行います。

- 1 コントロールパネルの[ネットワーク]をダブルクリックします。
 [ネットワーク]ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [ソフトウェアの追加]ボタンをクリックします。
 [ネットワークソフトウェアの追加]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [ネットワークソフトウェア]の一覧から[TCP/IPプロトコルおよび関連コンポーネント]を選択し、[続行]ボタンをクリックします。
- 4 [Windows NT TCP/IP組み込みオプション]ダイアログボックスで、
 [TCP/IPネットワーク印刷サポート]チェックボックスをオンにします。
 [接続ユーティリティ]がコンピュータにまだインストールされていない場合はチェックボックスをオンにしてください。
- 5 [OK]ボタンをクリックします。
 Windows NT配布ファイルへのフルパスを入力するよう求めるメッセージがWindows NTセットアップから表示されます。適切なパス名を指定し、[続行]ボタンをクリックします。

ネットワークプリンタの作成と接続

次の手順でネットワークプリンタの作成と接続を行います。

- 1 コントロールパネルの[プリンタ]をダブルクリックします。
- 2 [プリンタ]メニューの[プリンタの作成]コマンドを選びます。
- 3 [プリンタ名]ボックスに、プリンタの名前を半角32文字以内で入力します。
この名前は、プリンタウィンドウのタイトルバーに表示されます。また、ネットワーク上でプリンタを共有している場合には、プリンタに接続するときにWindows NTを実行中のネットワークユーザに対して表示されます。
- 4 [ドライバ一覧]から、プリンタのドライバを選択します。
プリンタが一覧に表示されないときは、互換性のあるドライバを使って、プリンタを組み込むことができます。プリンタのマニュアルを参照して、どのドライバを選べるかを判断してください。
- 5 [説明]ボックスに、任意の説明を入力します。
この説明は、ネットワークユーザが、利用できるプリンタに、そのプリンタを追加するときに表示されます。この説明を使って、ネットワークユーザにプリンタ情報を通知します。たとえば、プリンタを一定の期間中だけ使えるように設定している場合などは、その情報をここに説明として入れておきます。
- 6 [印刷先]一覧から、[その他...]を選びます。
- 7 利用可能な印刷モニタの中から、[LPR Port]を選択し、[OK]をクリックします。
- 8 lprを提供しているホスト名またはIPアドレスを入力します。
lprで設定しているプリンタのIPアドレスまたはホスト名(プリンタ名)を入力します。

9 設定が終了したら、[OK]をクリックします。

10 作成したプリンタをネットワーク上で共有する場合は、次の作業を行います。

[ネットワーク上で共有]チェックボックスをオンにします。

[共有名]テキストボックスで、プリンタの共有名が作成されます。Windows NTを実行中のコンピュータでは、プリンタに接続すると、そのプリンタ名が調べられます。ただし、MS-DOSを実行中のコンピュータでプリンタに接続するには、MS-DOSの名前付け規則に従った共有名が必要になります。

共有名はプリンタ名に基づいて作成されます。共有名は編集できません。ただし、MS-DOSベースコンピュータにプリンタを接続する場合は、MS-DOSの名前付け規則に従った半角12文字以内の名前にしなければなりません。

自分の文書が印刷されるプリンタの場所がユーザにわかるように、[設置場所]テキストボックスにプリンタの場所の説明を入力します。利用できるプリンタの一覧にプリンタを追加すると、そのプリンタの設置場所が[プリンタの接続]ダイアログボックスに表示されます。

[OK]をクリックします。

以上でネットワークプリンタの作成は終了です。

IPアドレスを設定する

IPアドレスは、添付のLANアダプタセットアップディスクにあるユーティリティが、Windows NTのコマンドを使って設定できます。

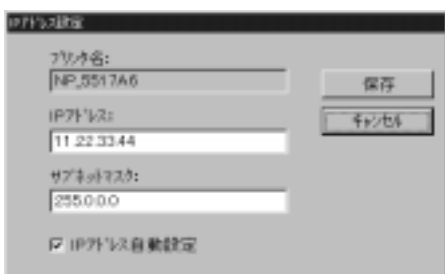
IPアドレス設定ユーティリティを使う

添付のセットアップディスクにあるユーティリティ「IPSet」を使用します。このユーティリティはWindows NT 3.51/4.0またはWindows 95で使用できます。



- レ Windows NTでこのファイルを使用する場合は、利用者がAdministratorの権限(アカウント)を持っていないければなりません。
- レ プリンタにIPアドレスを設定する場合は、プリンタとプリンタにIPアドレスを設定するために使うコンピュータがPルータ等を介さないローカルな環境で行ってください。

- 1 Windows NT(またはWindows 95)を起動します。
- 2 LANアダプタセットアップディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。
- 3 [IP set]フォルダを開き、[IPset.exe]を実行します。
[IP setユーティリティ]ウィンドウが表示されます。
- 4 一覧からプリンタを選択し、[IPアドレス設定]をクリックします。
[IPアドレス設定]ウィンドウが表示されます。
- 5 IPアドレスとサブネットマスクを入力します。
- 6 設定内容を保存して、終了します。



Windows NTのコマンドを使う



- レ ここで示す方法でIPアドレスを一度設定すると、プリンタのコンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ってLANアダプタの設定をクリアしないと再度同じ方法では設定できません(コンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ったクリアの方法については6ページを参照)。
- レ コンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ったクリアを行うと、他のOSの設定もクリアされ工場出荷時の設定に戻ります。クリアを行う前に、コンフィギュレーションページを印刷して設定を控えておいてください。
- レ プリンタにIPアドレスを設定する場合は、プリンタとプリンタにIPアドレスを設定するために使うコンピュータがPルータ等を介さないローカルな環境で行ってください。

1 プリンタの電源をOFFにし、再度電源をONにします。

2 NTコマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行します。

```
>route add 11.22.33.44 <NTシステムのPCのIPアドレス>
```

(実行例)

```
>B: ¥users ¥default ¥route add 11.22.33.44  
123.123.123.123
```

3 pingコマンドを実行します。

```
>ping 11.22.33.44
```

以下のような画面が表示されます。

(画面表示例)

```
Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:  
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32  
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time < 10ms TTL=32  
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time < 10ms TTL=32  
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time < 10ms TTL=32
```

4 arpコマンドを実行します。

```
>arp -a 11.22.33.44
```

以下のような画面が表示されます。

(画面表示例)

```
Interface: 123.123.123.123  
Internet Address Physical Address Type  
11.22.33.44      00-a0-92-12-34-56 dynamic
```

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンタの物理アドレスが表示されます。複数のプリンタが接続されている場合には、その中の一つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンタの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

5 IPアドレスをWindows NTシステムへ登録します。

以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s <プリンタに設定するIPアドレス>  
      <設定するプリンタの物理アドレス>
```

(実行例)

```
>B: ¥users¥default ¥arp -s 123.123.123.001 00-a0-92-  
12-34-56
```

6 pingコマンドを実行します。

```
>ping <プリンタに設定するIPアドレス>
```

(実行例)

```
>B: ¥ users ¥ default ¥ ping 123.123.123.001
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

続いて他のプリンタのIPアドレスを変更する場合は、

```
>arp -d 11.22.33.44
```

を実行後、手順3から設定を行ってください。

セットアップ ~ Windows 95編 ~

この章では、Windows 95からネットワークプリンタへのサーバを使用せず直接印刷するための設定について説明します。

Windows 95から印刷するためにはNEC TCP/IP Printing Systemを使用します。これらソフトウェアで印刷する前に、あらかじめLANアダプタにIPアドレスを設定する必要があります。

はじめにLANアダプタにIPアドレスを設定後、各ソフトウェアをインストールしてください。



サーバを経由せずWindows 95から印刷する場合、次の点について注意してください。

サーバを経由しない印刷では、Windows 95クライアントごとにプリンタに印刷要求を行います。

サーバを使用せず直接プリンタに印刷データを送信するWindows95 Peer to Peerネットワーク印刷環境において、プリンタが処理できる印刷要求は、同時に8個までです。

複数のPCからの印刷要求がプリンタに送られた場合、または多数の印刷要求をプリンタが受け付けている場合、PCの画面に印刷要求を処理できないことを知らせる通知メッセージが表示されることがあります。この通知が表示されると、通知された印刷データは破棄されます。他の印刷が終了した後、再度印刷を実行してください。

複数のPCから印刷要求を受け付けている場合、印刷する順番は印刷実行の順番とは限りません。

プリンタのIPアドレスの設定

セットアップを行う前にWindows 95のネットワークの構成にTCP/IPプロトコルが組み込まれていることを確認してください。TCP/IPプロトコルが組み込まれていない場合は、Windows 95のマニュアルを参照してプロトコルを組み込んでIPアドレスを設定してください。

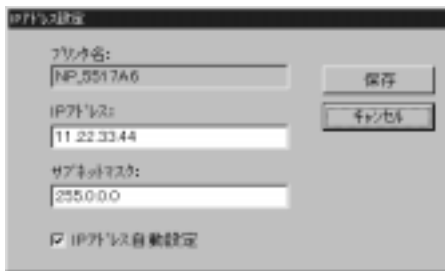
IPアドレスを設定する

Windows 95よりネットワーク対応プリンタのIPアドレスを次の手順に従い設定します。IPアドレスは、添付のLANアダプタセットアップディスクにあるユーティリティ「IP Set」を使って設定します。



- チ プリンタにIPアドレスを設定する場合は、プリンタとプリンタにIPアドレスを設定するために使うコンピュータがPルータ等を介さないローカルな環境で行ってください。
- チ セットアップはプリンタとプリンタケーブルで接続されている状態でプリンタの電源をONにして行ってください。

- 1 Windows 95(またはWindows NT)を起動します。
- 2 LANアダプタセットアップディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。
- 3 [IP set]フォルダを開き、[IPset.exe]を実行します。
[IP setユーティリティ]ウィンドウが表示されます。
- 4 一覧からプリンタを選択し、[IPアドレス設定]をクリックします。
[IPアドレス設定]ウィンドウが表示されます。
- 5 IPアドレスとサブネットマスクを入力します。
- 6 設定内容を保存して、終了します。



NEC TCP/IP Printing Systemのインストール

Windows 95をインストールしたコンピュータを使って添付のLANアダプタセットアップディスク内のディレクトリ「Win95」のsetup.exeを実行します。その後のインストール操作は、画面に表示されるメッセージに従って行います。

インストールについての詳細については、LANアダプタセットアップディスク内のreadme.txtまたはreadme.docを参照してください。



- レ readme.docはWindows 95のワードパットアプリケーションで開けます。
- レ 不慮の事故に備えて、インストールの前に必ずバックアップコピーを行ってください。

インストールの方法

NEC TCP/IP Printing Systemのインストール作業をはじめます。次の手順に従って、インストールを行なってください。

- 1 Windows 95を起動します。
- 2 NEC TCP/IP Printing Systemインストーラディスクを3.5インチFDドライブにセットします。
- 3 インストールプログラム「setup.exe」を起動します。
起動は次のいずれかの方法で行なうことができます。

エクスプローラから起動する場合

- 1 エクスプローラのフォルダ情報より[3.5インチFD]を選択します。
- 2 インストールプログラム「setup.exe」を選択してダブルクリックします。
- 3 「NEC TCP/IP Network Printing Systemインストーラ」が起動します。

ファイル名を指定して実行する場合

- 1 [スタート]ボタンをクリックし[ファイル名を指定して実行]を選択します。
- 2 インストールプログラム「setup.exe」のフルパス名を[名前]入力欄に入力します。
- 3 [OK]ボタンを選択すると「NEC TCP/IP Network Printing System インストーラ」が起動します。
- 4 インストーラ起動後は、ウィザード画面に従い設定を行います。
- 5 IPアドレス登録画面では、「プリンタの作成」で必要となるプリンタポートを作成し登録します。

既にプリンタにIPアドレスが割り付けられている場合にインストーラの中でプリンタポートとして使用されるIPアドレスを事前に登録することができます。

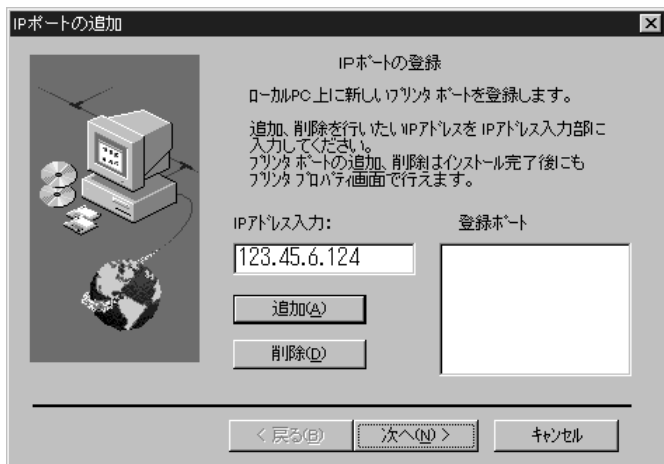
IPアドレスの登録はインストール完了後もプリンタプロパティ画面で行なえません。

- (1) [IPアドレス入力]部にプリンタに割り付けたIPアドレスを入力します。
- (2) 正しく入力が完了しましたら、[追加]ボタンを選択してください。



IPアドレス登録画面上で追加できるIPアドレスは、最大10個までです。それ以上の登録を行なった場合、再起動時のシステムの動作に影響を及ぼす可能性があります。その際生じた障害につきましては、動作保証の対象外となります。

- (3) 登録を間違えた場合は、IPアドレス一覧より削除するIPアドレスを選択し[削除]ボタンを選択してください。



- 6 インストール完了後 Windows 95 Network Printing Systemを動作させるためにはコンピュータの再起動が必要です。

「プリンタの作成」を行う前に、必ずコンピュータの再起動を行ってください。

プリンタの作成

NEC TCP/IP Printing Systemを使用するためのプリンタをWindows 95上に作成します。

インストールはWindows 95のプリンタウィザードの画面にしたがって行います。

- 1 [スタート]ボタンの[設定] または[マイコンピュータ]アイコンより [プリンタ]を選択します。
- 2 次に、[プリンタの追加]をクリックします。

プリンタウィザードが現れますので、以下の手順で設定を行ってください。

- (1) "接続されるプリンタ設定"画面で[ローカルプリンタ]を選択します。
- (2) [プリンタ製造元とモデル選択]画面で適切なプリンタの選択を行います。
- (3) [利用できるポート選択]画面でプリンタポートを選択します。

- インストーラで既にIPアドレスが登録されている場合
選択画面上に "IPアドレス(TCP/IP port)" が表示されます。
ex."123.45.6.123 (TCP/IP port)"

希望するIPアドレスのプリンタポートを選択してください。

- IPアドレスが未登録の場合、「LPT 1 : 」を選択し、下記プリンタポートの追加手順に従いプリンタプロパティ画面でプリンタポートを作成してください。

- (4) プリンタウィザードの画面に従い、プリンタを作成します。

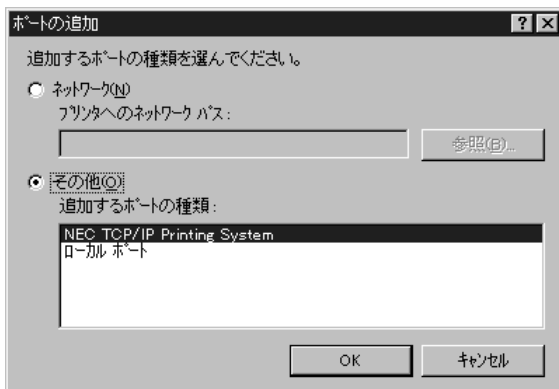
プリンタポートの追加方法

「項2.インストーラ」のIPアドレス登録画面でプリンタポートを作成しなかった場合、または追加でプリンタポートを作成する場合の方法を示します。

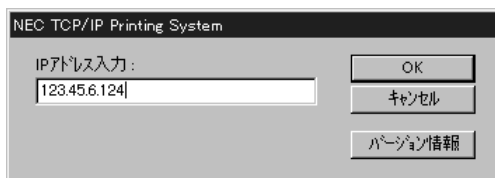
この操作は、プリンタのプロパティ画面で行います。

- 1 プリンタのプロパティ画面を開きます。
- 2 [詳細]を選択します。
- 3 [詳細]画面中の[ポートの追加]を選択します。

- 4 [ポートの追加]画面で下のように「その他」-「NEC TCP/IP Printing System」を選択します。



- 5 [OK]を選択すると次の画面が現れます。
ここで、ネットワーク対応プリンタに割り付けたIPアドレスを入力します。



ネットワーク対応プリンタへのIPアドレス設定が行われていない場合は、「IPアドレスの設定」を参照してください。

- 6 [OK]を選択すると新しいポートが作成されます。
- 7 以上で設定は完了です。

プロパティの「情報」画面で「印字テスト」を選択し、設定が正しく行われたことを確認してください。

セットアップ

～ LAN Manager編～
～ LAN Server編～

この章では、LAN Manager/LAN Server環境に合わせてプリンタを設定する方法について説明します。

使用環境に合わせたセットアップを選ぶ

このLANアダプタおよびソフトウェアは日本語版のLAN Manager / LAN Serverに対応しています。

セットアップの方法はOSのバージョンによって異なります。使用環境に合った説明を参照してください。



セットアップはプリンタとプリンタケーブルで接続されている状態でプリンタの電源をONにして行ってください。


LAN Manager 2.1/LAN Server 3.0 へのセットアップ

LAN Manager 2.1 / LAN Server 3.0へのセットアップの方法を説明します。

ソフトウェアのインストール

添付のLANアダプタセットアップディスクにあるファイルをインストールします。

- 1 ソフトウェアをサーバにインストールするため、ディレクトリを作成します。

```
>MKDIR A:¥NECPR 
```

- 2 付属のセットアップディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、ディレクトリ名lanman.OS2へ移ります。

```
>CD lanman.OS2 
```

- 3 ディレクトリの中のファイルのすべてを手順1で作成したディレクトリにコピーします。

以下のファイルがコピーされます。

addport.cmd・・・サーバにポートを追加します。

delport.cmd・・・不要なポートを削除します。

portchg.exe・・・ポートを追加および削除するとき、いっしょに使われます。

remprt3.exe・・・ネットワーク印刷を実行するプログラムです。

rembeu.exe・・・ネットワーク印刷を行うためのドライバです。

remstat3.exe・・・ネットワーク印刷用ドライバをアンロードするとき使用します。

- 4 サーバ上のOS/2コマンドアイコンの中のOS/2全画面プロンプトを開きます。

```
>CD NECPR 
```

- 5 先ほど作成したディレクトリに移ります。

```
>ADDPOR PR2200 
```

- 6 ADDPORTコマンドでネットワークプリンタ用ポートを作成します。(文字数は7文字までにしてください。)

コマンド実行後、¥PIPE¥PR2200というポートが作成されます。¥PIPEは自動的に付加されます。

- 7 続いて、ネットワークプリンタサービス開始時に、ネットワーク上のプリンタと手順6で作成したネットワークプリンタ用ポートを関連づけるINIファイル(ここではNECPR.INI)を作成します。

(定義)

```
<プリンタのNetbios名> <ネットワークプリンタ用ポート名>
```

プリンタのNetbios名

「NECPRA092」+ <Node Number末尾6ケタ>

例えば、Node Addressが「00:A0:92:30:83:64」のときのプリンタのNetbios名は「NECPRA092308364」となります。

(NECPR.INIファイル例)

```
NECPRA092308364 PR2200
```


- 8 作成したネットワークプリンタを立ち上げ、OS/2コマンドプロンプトで次のコマンドラインを入力します。

(例)

```
REMPRT3 @NECPR.INI
```

または、

```
REMPRT3 NECPRA092308364 PR2200
```



サーバ始動時にネットワークプリンタを立ち上げるように設定する場合は、STARTUP.COMDファイルの最後の行に追加してください。

以上でソフトウェアのインストールは終了です。続いてネットワークプリンタの作成・変更を行います。

ネットワークプリンタの作成・変更

ここでは、各ネットワークに対するプリンタの設定方法について簡単に説明します。詳細については、オンラインヘルプマニュアルを参照してください。

LAN Manager 2.1を使用する場合

- 1 プリントマネージャの[設定]メニューの[プリンタ]を選択します。
[プリンタ]ダイアログボックスが現れます。
- 2 [作成]または[変更]を選択します。
- 3 [名前] [説明]テキストボックスに記入後、[装置]ボックスの下向きの矢印ボタンをクリックします。
- 4 一覧の中から、インストールで作成した[¥PIPE¥PR2200]を選択します。

必要に応じてプリンタドライバを設定後、終了してください。
- 5 プリントマネージャの[設定]メニューの[待ち行列]を選択します。
待ち行列ダイアログボックスが現れます。
- 6 [追加]または[変更]を選択します。
- 7 [名前] [説明]テキストボックスに記入後、[待ち行列ドライバ]ボックスから[LMPRINT]を選択します。
- 8 必要に応じて他のボックスも設定後、終了します。

LAN Server 3.0を使用する場合

- 1 テンプレートホルダを開きます。
- 2 プリンタを選択して、それをホルダまたはデスクトップの使用可能な場所にドロップします。
- 3 [名前]フィールドに名前を入力します。
- 4 [省略時プリンタドライバ]フィールドから[NECNULLドライバ]を選択します。
- 5 出力ポートとして、インストールで作成した[PR2200]を選択します。



ここでPC-PR等のプリンタドライバを選択すると正しく印刷されな
いことがあります。間違えないように注意してください。

- 6 [作成]をクリックして終了します。

セットアップ ~ UNIX編 ~

この章では、UNIX環境へプリンタを設定する方法について説明します。

IPアドレスの設定

IPアドレスは、UNIXマシンから「ping」コマンドを使って接続し設定する方法と、Windowsマシンから添付のLANアダプタセットアップディスクを使って設定する方法があります。

ネットワーク上にWindowsマシンが接続されている場合は、Windowsマシンから添付のディスクを使うと簡単に設定することができます。詳しくは51ページを参照してください。

ここでは「ping」コマンドを使った設定方法を示します。

あらかじめホストマシン側のARPアドレス変換テーブルにLANアダプタのARPエントリを作っておくことにより、IPアドレスを変更できます。



- レ セットアップはプリンタとプリンタケーブルで接続されている状態でプリンタの電源をONにして行ってください。
- レ ここで示す方法でIPアドレスを一度設定すると、添付プリンタユーティリティまたはプリンタのコンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ってLANアダプタの設定をクリアしないと再度同じ方法では設定できません(コンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ったクリアの方法については6ページを参照)
- レ コンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ったクリアを行うと、他のOSの設定もクリアされ工場出荷時の設定に戻ります。クリアを行う前に、コンフィギュレーションページを印刷して設定を控えておいてください。
- レ プリンタにIPアドレスを設定する場合は、プリンタとプリンタにIPアドレスを設定するために使うコンピュータがIPルータ等を介さないローカルな環境で行ってください。

以下の手順に従ってIPアドレスを変更してください。

- 1 エディタを使用して、ホストコンピュータの/etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を追加します。

```
ddd.ddd.ddd.ddd <ホスト名>
```

“ddd.ddd.ddd.ddd”はプリンタの変更したい新しいIPアドレスです。<ホスト名>はプリンタ名を入力してください。



設定されるプリンタのIPアドレスは設定するために使うホストと同一のネットワークアドレスでなくてはなりません。プリンタのIPアドレスがホストと異なるネットワークアドレスの場合は、ホストのサブネットマスクを一時的に変更して、同一ネットワークにあるかのように設定し直す必要があります。

次にUNIXの/etc/hostsファイルの表示例を示します。

(UNIXの/etc/hostsファイルの表示例)

```
      :           :           :
192.9.200.20    pr2200    #MultiWriter2200
      :           :           :
      :           :           :
```

“192.9.200.20”はプリンタのIPアドレスです。

“pr2200”はプリンタのホスト名です。

“#MultiWriter2200”はコメント文です。

- 2 ホストコンピュータのアドレス変換テーブルにプリンタのエントリを追加します。

```
arp -s <ホスト名> <Ethernetアドレス>
```

<ホスト名>は手順1で指定したプリンタのホスト名です。<Ethernetアドレス>には、コンフィギュレーションページのNode Addressの値を入力してください。

(実行例)

```
arp -s pr2200 00:00:4C:11:22:33
```

arpコマンドの詳細については、各システムのコマンドマニュアルを参照してください。

- 3 新しいIPアドレスを使用してpingコマンドを実行します。

```
ping pr2200
```

これで、新しいIPアドレスに変更されました。

- 4 コンフィギュレーションページを出力してIPアドレスが変更されたことを確認します。

ホストコンピュータ側のセットアップ

「lprコマンド」、「ftpコマンド」のいずれを使用する場合も、プリンタのIPアドレスとホスト名のhostsファイルへの登録は最低限必要です。

IPアドレスを登録すると、ftpコマンドが使用可能になります。lprコマンドを使用する場合は、IPアドレスの登録の他に次に示す設定を行う必要があります。

lprコマンドを使用する場合

lprコマンドを使用する場合、通常ホストコンピュータ側のprintcapファイルでリモートプリンタとなるプリンタを定義する必要があります。また、プリンタが持つフィルタを使う場合は、その定義も同時に行います。フィルタは以下のフィルタ名の中からprintcapファイル内でコマンドオプションのrpで定義してください。

フィルタ名	機能
lpb	フィルタ無し：バイナリファイルの転送に使用します。
lpa	LF CR+LF：改行コードLF(0A)をCR+LF(0D0A)に変換します。
lpbff	lpb+FF：ファイルの最後にFFコード(0C)を付加します。
lpaff	lpaff+FF：LFをCR+LFに変換しファイルの最後にFFコード(0C)を付加します。

その他のフィルタ名はlpbとみなされます。



プリンタには、eucコードをプリンタJISコードに変換する漢字フィルタはサポートされておりません。ホスト側で変換後、プリンタへ転送するようにしてください。

(BSD系UNIXのprintcapファイルの設定例)

```
pt0|no convert:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:¥
  :sd=/usr/spool/lpd0:
pt1|ascii file:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpa:¥
  :sd=/usr/spool/lpd1:
pt2|binary with FF:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpbff:¥
  :sd=/usr/spool/lpd2:
pt3|ascii with FF:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpaaf:¥
  :sd=/usr/spool/lpd3:
```

printcapの詳細についてはホストコンピュータの取扱説明書を参照してください。

印刷方法

ホストコンピュータからプリンタへのファイルの転送には、「ftpコマンドによる転送」と「lprコマンドによる転送」の2つの方法があります。

ftpコマンドによる転送

ftp(file transfer protocol)コマンドとは、通常UNIX上でコンピュータ間のデータ転送に使用されるプロトコルで、TCP/IPの上位層に位置します。

プリンタは、このftpコマンドプロトコルで、クライアント側から転送されたファイルを受け取ることができるサーバ機能をサポートしています。

印刷ファイルは、ftpコマンドを使いプリンタに転送することで印刷されます。サポートしているコマンドは次の3つです。






コマンド名	機 能
binary	転送されたファイルはそのままプリンタへ送られます。デフォルトはこのモードです。
ascii	プリンタでLF(0A)をCR+LF(0D0A)に変換します。
put (send)	ファイルの転送に使用します。宛先ファイルとして“ FEED ”あるいは“ feed ”と入力すると、ファイルの最後にフォームフィードを付加します。



プリンタには、eucコードをプリンタJISコードに変換する漢字フィルタはサポートされておりません。ホスト側で変換後、プリンタへ転送するようにしてください。

ファイルの転送は、次の例のようにクライアント側でftpコマンドプロトコルのコマンドを実行することにより行われます。

(ftpコマンドによるファイル転送例)

```
olive%ftp pr2200  ----- ( ftpコマンドを起動します。 )  
Connected to pr2200  
220 ready  
Name(pr2200:)  ----- ( リターンキーを押します。 )  
230 User logged in proceed  
ftp>binary  ----- ( ファイルの形式を指定します。 )  
200 Command okay  
ftp>put data.plt  ----- ( data.pltファイルを転送します。 )  
200 Command okay  
250 Requested file Action okay,completed  
13083 bytes sent in 0 seconds(12.78 kbytes/s)  
ftp>quit  ----- ( ftpコマンドを終了します。 )  
221 Services closing control connection  
olive%
```



転送方法は、ワークステーションまたはパーソナルコンピュータ用ソフトウェアによって多少異なります。詳しくはそれぞれのコマンド説明書を参照してください。

lprコマンドによる転送


BSD系UNIXで標準的なリモートプリント機能 (lprコマンド) を使ってプリンタにデータを出力することができます。

また、あらかじめprintcapファイルでプリンタにフィルタを登録しておく、そのプリンタを指定するだけでプリンタに登録されたフィルタを使用してデータの出力を行うことができます。

フィルタを指定しない場合は、ホストコンピュータから受信したデータを無変換のままプリンタに出力するので、あらかじめホスト側で出力するデータの形式をプリンタに合わせておく必要があります。

プリンタ名は、ホストコンピュータの/etc/printcapファイルにプリンタを登録するときに指定します。printcapの設定については、「lprコマンドを使用する場合」(72ページ)を参照してください。また、printcapの詳細については、ホストコンピュータのコマンド説明書を参照してください。

ホストコンピュータからは、次のようなコマンドを入力し、ファイルを転送します。

```
lpr -Ppt0 <ファイル名> 
```

「pt0」は73ページで設定したプリンタ名



ファイルの転送方法は、ソフトウェアまたはコンピュータによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

故障かな？と思ったら

ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンタの故障を疑う前にこの章を参照してください。

プリンタの設定を変更したときに白紙が排出される、あるいは未印刷データを受信する場合

プリンタの設定を変更したときに、プリンタが無効データを受信する場合があります。プリンタの設定を変更したときに、プリンタに「データガノコッテイマス」あるいは未印刷データがあることを示すアラームランプが点灯した場合には、未印刷データの排出を行ってください。未印刷データの排出方法については、ご使用のプリンタのユーザーズマニュアルを参照してください。

NetWareをご使用の方へ

文字が正しくプリントされない

ワープロソフト等のアプリケーションのプリンタ設定を、使用しているプリンタの現在の動作モードに設定してください。ワープロ等で使用する場合には、キャプチャーはNOTubにしてください。

漢字をプリントしない

NPRINT等、プリンタドライバを経由しないでプリントする場合には、漢字が正しく印刷されない場合があります。そのようなときは、このプリンタドライバを通してファイル化したデータを転送するようにしてください。

複数のファイルサーバで1つのユーザ数が占有されてしまう 公衆回線を通してファイルサーバに接続される

ログインファイルサーバを固定してください(別冊のネットワークプリンタユーティリティ(NetWare版)取扱説明書を参照)。

Windows NTをご使用の方へ

lprでプリントできない

IPアドレスが正しく設定されていることを確認してください。確認の方法として、pingコマンドを送信してください(52ページ参照)。

プリントを実行するとしばらくしてプリントマネージャに“ プリントエラー ”と表示される

他のジョブをプリントしている場合に起こることがあります。プリンタが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送ってください。

プリント中にキャンセルされる

プリントするページを少なくしてもう一度プリントしてみてください。プリントできた場合は、Windows NTのSystemディレクトリの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。

LAN Manager/LAN Serverをご使用の方へ

印刷できない

プリントジョブがサーバのプリントマネージャ上で見えますか？

プリンタ設定の出力ポートをLPT1にして印刷できますか？

プリンタ設定の出力ポート「¥PIPE¥XXXX」が選択されていますか？

コンフィギュレーションページを印刷してください。INIファイルでプリンタのNetBios名とネットワークプリンタ用ポート名が同じになっていますか (65ページ参照)？

以上のことを確認して処置を行っても印刷できないときはお近くのサービス窓口にご相談ください。

UNIXシステム環境でご使用の方へ

IPアドレスが設定できない(pingコマンドが発行できない)

異なるネットワークのIPアドレスを指定している場合があります。pingコマンドを発行するホストマシンのIPアドレスおよびサブネットマスクを確認してください。

ftpコマンド、lprコマンドでプリンタに接続(ログイン)できない

プリンタ以外のホストに接続できますか？ 接続できない場合は、システムの異常が考えられます。

IPアドレス等がプリンタ側に登録されていない場合があります。登録を行ってください。

pingコマンドで接続できますか？ 接続できない場合は、コンフィギュレーションページを印刷し、IPアドレス、プリンタ名を確認してください。

lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しくプリントされない

プリンタ側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。

プリンタのコードに変換されていない場合があります。eucコードをプリンタ用JISコードに変換するシェルを作成してから印刷してください。

最後のページが排出されない

テキストファイル等の転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンタ側で自動排出を設定するか、転送時に宛先ファイルとして「feed」を指定してください。

仕 様

インタフェース	ネットワークインタフェース : 10BASE2 10BASE-T プリンタインタフェース : 平行インタフェース (36ピン ハーフピッチ コネクタ使用)
環境	動作温度 : 10 ~ 32.5 動作湿度 : 20 ~ 80%RH(結露しないこと) 保管温度 : 0 ~ 35 保管湿度 : 10 ~ 80%RH(結露しないこと) 塵埃量 : 一般事務室程度 ガス成分 : 一般事務室程度
電源	電圧 : 100V ± 10% 周波数 : 50/60Hz ± 1Hz
消費電力	6W
寸法	幅60mm × 高さ105mm × 奥行き165mm
重量	800g
製品寿命	約5年

アフターサービスについて

保証について

LANアダプタには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。

また、LANアダプタに添付の「お客様登録申込書」に所定事項をご記入の上登録センターへお送りください。

修理に出される前に

「故障かな?」と思ったら、以下の手順を行ってください。

LANアダプタやプリンタの電源ケーブルおよびインタフェースケーブルが正しく接続されているかチェックします。

「トラブルシューティング」を参照してください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは無理な操作をせず、お近くのサービス窓口にご連絡ください。電話番号、受付時間については『サービス網一覧表』をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、必ず保証書を添えてお申し込みください。



- レ 本体の側面に、製品の形式、SERIAL NO.、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にはこの内容をお伝えください。
 - レ 弊社パーソナルコンピュータプリンタシリーズ(本製品を含む)は日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理をすることはできません。
-

寿命について

LANアダプタの製品寿命は、使用年数5年です。継続使用される場合は、販売店または当社保守部門にご相談ください。

補修用部品について

LANアダプタの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

索引

英数字

10BASE2用コネクタ	6, 10
10BASE-T用コネクタ	6, 10
AC電源コネクタ	6
DLCプロトコル	38
IPアドレス	55, 69
LAN Manager	7, 63
LAN Manager 2.1/LAN Server 3.0へのセットアップ	64
LAN Server	63
Ipr(TCP/IP)プロトコル	45
NEC TCP/IP Printing Systemのインストール	57
NetWare	17
NetWare OSのセットアップ(3.11J J /3.12 J).....	30
NetWare OSのセットアップ(4.1 J /4.11 J).....	18
プリントサーバモード	18
リモートプリンタモード	25
NPD LモードとESC/Pモードの切り替え	33
UNIX	7, 69
Windows 95	7, 55
Windows NT	7, 37

あ

赤色LED	6
アフターサービス	82
インタフェースケーブル	9
インタフェース用ソケット	6

か

各部の名称	6
切替スイッチ	6
故障かな?と思ったら	77
コンフィギュレーションページ	13
~印刷ボタン	6

さ

仕様	81
接続	9

た

電源コード	6
電源スイッチ	6
電源ランプ	6
動作環境	7
LAN Manager	63
LAN Server	63
NetWare	17
UNIX	69
Windows 95	55
Windows NT	37
特長	5
取り付け	9

な

ネットワークOSへのセットアップ	10
------------------------	----

は

箱の中身	vi
保証	82
緑色LED	6

ら

リセット(コンフィギュレーションページ印刷ボタン).....	6
----------------------------------	---

